

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	001 観光施設管理事業				
担当部	110000 企画開発部		課・室	111001 観光・スポーツ振興	所属長名	新垣行則	

(1) 基本情報

基本目標	006 働きのつながるまち(産業)		施策	001 各種産業の連携と情報の発信	
事務事業期間	平成30年度～令和02年度		会計種別	01 一般会計	
経費の性質	4 施設管理事務費		実施計画対象	1:対象	
事業概要	実施方法	業務委託又は指定管理		実施根拠 (法令や条例等)	
	目的	○観光施設(北名城ビーチ、嘉手志川、喜屋武岬、大度園地)のトイレ維持管理。			
	対象	○施設利用者			
	活動内容	○浄化槽保守点検業務委託 ○清掃業務委託 ○光熱費支払			
	意図(成果)	○施設の提供			

(2) コスト及び成果

		単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費		千円	3,351	4,079	2,274	2,271	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	524	524	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,827	3,555	2,274	2,271	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標				この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標			
活動指標名		単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名		単位	左記の成果指標とした理由
清掃		回	施設維持管理事業のため	清掃		回	施設維持管理事業のため
浄化槽点検		回	施設維持管理事業のため	浄化槽点検		回	施設維持管理事業のため

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	清掃	回	計画値	381	350	381	381	0
			実績値	386	350	0	0	0
	浄化槽点検	回	計画値	16	16	16	16	0
			実績値	16	16	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	清掃	回	計画値	381	350	0	0	0
			実績値	386	350	0	0	0
	浄化槽点検	回	計画値	16	16	0	0	0
			実績値	16	16	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥 当 性	①事務事業を実施する妥当性	☐ 目的は明確で上位の施策に結びついている ☒ 目的は上位の施策に結びついていない ☐ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○トイレ施設が整備されているため維持管理を行う必要がある。
	②行政が関与する妥当性	☐ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ☐ 国、県、市の協調によるもの ☒ 民間ではできない、または民間では実施していない ☐ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ☐ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○公共施設の維持管理のため。

必 要 性	③市民ニーズ	☐ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ☐ 市民ニーズが増加傾向にある ☒ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ☐ 市民ニーズが減少傾向にある ☐ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○市民ニーズより観光客等からのニーズが多いと思われる。
	④現時点での優先性や緊急性	☐ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ☐ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ☒ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ☐ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ☐ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○観光地としても知られており、利用者は増加傾向にある。緊急性はないが引き続き実施する必要がある。

公 平 性	⑤受益者負担は適切か	☐ 広く市民を対象としていることから適切である ☐ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ☐ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ☐ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ☒ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○施設維持管理となるため公平性になじまない。
-------------	------------	---

効 率 性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	☐ かなり縮減できている ☐ ある程度縮減できている ☐ あまり縮減できない ☐ 縮減できない ☒ 効率性の評価になじまない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○施設維持管理となるため公平性になじまない。
-------------	-----------------------------	---

有 効 性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	☒ 目標を上回る ☐ 目標を概ね達成している ☐ 目標をやや下回る ☐ 目標を下回る ☐ 成果指標を設定していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○各施設の老朽化が目立ってきており修繕が必要。
-------------	-----------------------	---

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 2. 必要性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 3. 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 4. 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 5. 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 ・適切3～4でB評価 ・適切1～2でC評価 ・全て見直しでD評価 A A 現状どおり事業を進めることが妥当 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 ☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 改善 ☐ 民間委託 ☐ 統合 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）